

令和7年9月議会では一般質問で「税外収入」を取り上げました。通常の税収が1億円増加すると、地方交付税の仕組みから地方税増収分の75%（ケースにより数字は変動）が交付税から減額されてしまいます。一方税外収入が1億円増えれば、それは市の資金として純増となるので、市はもっと税外収入の確保に本気で取り組むべき、と訴えました。ふるさと納税の「勝ち組」の市町村はこれらに強い「アイデア、マーケティングなどのプロ」を活用して収入増に工夫を凝らしています。これからの大きな課題と言えます。

議案では令和8年度から社会保険料から徴収される「子ども子育て支援金」のためのシステム改修予算に反対しました。これは「国の問題」であって市としてできることはないのですが、本来は増税可否を国民に問うて声を聞いた上で行うべき問題で、コソコソ社会保険料に上乘せして国民から広く薄くとろうという考え方は姑息だと言えます。これを市民の皆さんにも知っていただく意味で、システム改修予算というやや別物の審議を活用して自分なりの意思表示をしました。

新しい蓮田の未来を創ります!

市民クラブ未来

蓮田市議会報告

2025.10月号
Vol.10



はたくにお

蓮田市馬込1-350-8
TEL・FAX:048-764-0998

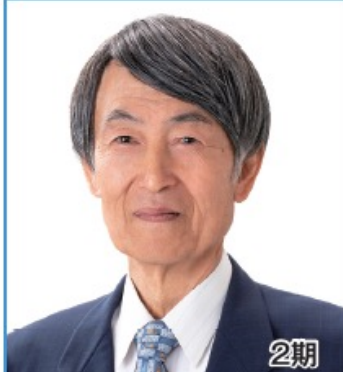
建設経済委員会委員
議会運営委員会委員



菊池 よしひと

蓮田市大字蓮田1032-5
TEL・FAX:048-768-8381

議会運営委員会委員長
総務委員会委員



斎藤 斉

蓮田市東1-4-21
TEL・FAX:048-768-4308

建設経済委員会委員
埼葛斎場組合議会議員



武藤 やすし

蓮田市大字黒浜3110-35
TEL・FAX:048-764-2662

民生文教委員会委員
蓮田白岡衛生組合議会議員

税外収入について

自治体では得られた税収増がそのまま市の収入増にはならず、基礎財政収入が増えると地方交付税が減額されるため収入金額がかなり目減りしてしまいます。一方ふるさと納税など税外収入の多くは基礎財政収入に参入されないため、市の財政改善への効率が良いことから、ここに焦点を当て蓮田市としての取り組みについて質問しました。



質問 繰入金と繰越金を除外した場合の、自主財源における税外収入比率はどれくらいか。(3年間の推移)

答弁 直近3年間の繰入金及び繰越金を除いた自主財源における税外収入の比率は令和4年度が6.38%、令和5年度は8.33%、令和6年度は7.69%です。

注: 中小自治体の平均的な比率は10~25%とされており、蓮田は低い方です。

質問 図書館や市役所周辺へのカフェ等の誘致など、市民の憩いをもたらす「公民連携施設」の検討は。

答弁 現時点では民間からの提案はなく検討は行なっていませんが、住民利便の向上や地域活性化の観点から研究していきます。

質問 広告収入の現状は。

答弁 広報「はすだ」及び健康カレンダーの有料広告、蓮田市ホームページのパナー広告を通じて収入を得ています。(年間450万円程度との答弁あり)

質問 広告媒体として文化スポーツ施設、市庁舎、公園等をもっと活用してはどうか。

答弁 場所や内容の規制などを検討しながら、広告収入の確保に向け検討を進めていきます。

質問 ふるさと納税において、コスモス祭りなど「映える」場でコスプレイベントを行うとか、酒蔵見学や飲み比べ体験などを返礼品として提供するなど、「コト経験」を活用する検討は。

答弁 飲み比べ体験などは検討したもののコロナ禍等があり実現していません。現在、スポーツ体験型のふるさと納税について事業者との交渉を進めています。

質問 動物愛護をテーマとした市の活動強化をNPOと協力して行うなど、ふるさと納税での民間の活用を強めてはどうか。

答弁 費用効果も念頭に、適切な事業者を模索するため研究を進めたいと考えています。

質問 税外収入に関する今後の取り組み方について市長の考えは。

答弁 ふるさと納税での出色の発想で税外収入を大きく伸ばしている自治体もあり、当市としても広く色々なアイデアを求めながら税外収入の増加を目指し、市民サービスの向上に繋げていきたいと考えています。

先行する市町に比べ、税外収入という切り口での蓮田市としての検討はまだこれからという印象です。民間の知恵もうまく取り入れ、議員提案も含め、市の収入増に向け新たな検討・試行を行うことが大事だと考えています。

新しい地方経済・生活環境創生交付金について（総務省の新たなDX支援補助金）

国の新たなDX交付金を得られる市としてのDX戦略などを質しました。問答詳細は省略しますがその検討はこれからという状況で、DX推進本部が積極的に他市の先行事例を研究して各課の事業に取り込むことを提案するなど、より強いリーダーシップを発揮しないと蓮田のDXはありきたりのもので終わってしまうとの危機感を持っています。

武藤やすしは、国民健康保険特別会計と後期高齢者医療特別会計において、社会保険料から子ども・子育て支援金を徴収するために行う行政システムの改修に関する業務委託費を支出する補正予算2議案に反対しました。子ども・子育て支援金の財源は税として一般財源に求めるべきものであり、税より国民負担率の高い社会保険料に上乗せして全国民から徴収するという制度設計そのものが公平性に欠け、当時の岸田政権・財務省の姑息な論理は許容できないとして、武藤やすしは議案に反対しました。